

本学学生さんへ
研究へのご協力をお願い

本学では、以下の研究を実施しています。この研究では、普段の学生講義や実習で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに講義や実習などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたくないとお考えの学生さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた学生さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、学生さんに不利益が生じることは一切ありません。

解剖学—放射線医学の垂直統合講義における
学生の学習効果および意欲への影響に関する研究

1. 対象となる患者さん

2024 年度 医学科 2 年生 約 110 名

2025 年度 医学科 2 年生 約 110 名

2. 研究責任者

奈良県立医科大学 放射線診断・IVR 学講座/教育開発センター 山内 哲司

3. 研究の目的と意義

医学教育に限らず、様々な教育現場において、関連他分野との垂直および水平統合による、学習効果の上昇や意欲の向上が求められており、成果を上げています。医学科教育においても、これまで例えば解剖学や生理学などの基礎医学を学習する低学年に対し、臨床医学の教員がその関連性を教育するような垂直統合講義が展開されてきました。人体という系すべてを学ぶ上で、これら垂直・水平方向の知識の有機的な結合は、理解の深化や知識の定着に有効と考えられ、教員および学生の双方にこの一定の効果があるような実感があったが、その理解度や実際の意欲の向上を統計的に厳密に観察・検討されるようなことはありませんでした。

本研究では、奈良県立医科大学医学部医学科 2 年生に対して、解剖学の講義と実習が行われている際に、放射線医学・臨床解剖学の観点から解剖学の重要性や有用性を説く垂直統合型の講義を導入します。その学習効果や意識の変化、臨床解剖学の理解度を調査し、垂直統合型の講義の有効性について検討することが目的です。こうした測定データおよび解析結果は、国内の他大学においても医学生教育のモデルケースとして、カリキュラム変更を検討する際の参考資料となることが期待されます。

4. 研究の方法

講義や実習の際に Microsoft Forms などを用いたアンケート調査を複数回実施します。それを用いて、学生それぞれの意識、学習意欲、理解度などを測定し、統計的に解析します。

5. 使用する情報

アンケートの回答結果

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学 放射線診断・IVR学講座/教育開発センター 山内 哲司

7. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2027年12月31日

8. 個人情報の取り扱い

対象となる学生さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や学籍番号など個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

9. お問い合わせ先

奈良県立医科大学 放射線診断・IVR学講座 山内 哲司

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-29-8900

e-mail：syamauchi@naramed-u.ac.jp